

第8回 市民の声を聴く会 提言に対する回答

新しい生活様式を取り入れた避難所の在り方の検証について

(要旨)

2020年7月に市が発行した避難所開設・運営マニュアルは、新しい生活様式を取り入れた避難所開設運営要領の記載があるが本当に有効なのか、総合防災訓練実施が困難な時期を踏まえて、災害が発生する前に各避難所で開設要領を検証し、発災時の市民の安全に万全を期す必要があるのではないか。

- ① それぞれの避難所で実行できるのか検証が必要ではないか。
- ② 段ボールベッドの組立ての難しさ、間仕切り保管場所の確保問題、ビニールシート等飛沫防止対応の必要性といった課題を他の避難所でも確認してはいかがか。

(対応) 産業建設常任委員会で協議。

(対応先の協議結果)

- ① 「それぞれの避難所で実行できるのか検証が必要ではないか。」について

各町内会などで構成している地域の防災組織で実際に検証していただくことは有意義で効果的なものと考えております。

一方、避難所開設・運営の検証については、地域によって立地などの特性が違ったり点や検証のための物品準備等が必要になる可能性がある点を含め、まずは地域の防災組織内で話し合っ検証についてご協議をされるものと考えております。

そのための市民周知として、各コミュニティセンターへマニュアルをわかりやすいところに掲示いただくことに関しましては、施設によってはすでに取り組んでいる可能性もあり、掲示に関する実態の確認等は、千歳市側に提言しても良いものと考えております。周知や啓発について、議会側からも可能なことや必要だと感じることは、今後協議や調査研究を進めていきたいと思ひます。

- ② 「段ボールベッドの組立ての難しさ、間仕切り保管場所の確保問題、ビニールシート等飛沫防止対応の必要性といった課題を他の避難所でも確認してはいかがか。」について

段ボールベッドの組み立て、スペース確保の間仕切りの保管場所、ビニールシート等飛沫防止の備えといったことの取り扱いに関しましては、市民の皆様に体験して慣れていただき、取り扱える方が増えることが望ましいものであると感じております。

しかし、体験を含め物品を新たに購入したり、保管場所の用意が必要等、物理的な対応を要する可能性があり、これらは各施設の管理状況も踏まえて、千歳市側で確認・対応の検討をする必要があるものだと考えております。